



令和6年10月2日
 都立品川特別支援学校長 田島 忍
 担当 養護教諭 小西 千絵

ようやく朝晩が涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。2学期は宿泊学習や遠足、学習発表会があり、子どもたちにとって楽しい行事が続きます。ですが、すでに都内ではインフルエンザの流行により学級閉鎖をした学校があります。本校校内でも9月以降手足口病、溶連菌感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等罹患したお子様がおり、随時マチコミにてお知らせしております。

校内での流行をなるべく防ぐためにも、お子様の皮膚に発疹発赤がある、発熱している、目が充血している、下痢嘔吐している等、感染症が疑われる症状がある際は先に病院を受診し、医師の判断を受けてから登校していただきますよう御協力をお願いいたします。

***** **保護者の方へ** *****

【10月保健行事予定】

日	曜日	項目	時間	小学部	中学部
2	水	健康相談	9:30～	該当者	該当者
3	木	宿泊前検診	9:30～		中3
24	木	宿泊前検診	9:30～		中2

【11月保健行事予定】

日	曜日	項目	時間	対象(小学部)	対象(中学部)
20	水	健康相談	9:30～	該当者	該当者



お子様の薬の飲ませ方でお困り方へ
 参考になりそうなホームページを見つけました。

保護者の方から「病院で薬をもらっても、飲むのに毎回苦労していて・・・他の方はどうされていますか？」という御相談を受けることがあります。

最近、お子様の体調不良で保護者の方にお迎えをお願いすることが多いのですが、保健室に来室された

薬を内服するにあたり、ゼリーやアイスクリーム、ヨーグルト等の服薬補助食品を使われているケースを多く聞きますが、薬と食品の組み合わせによっては薬のコーティングがはがれて苦味を強く感じたり、薬効が低下することがあります。探してみたら、一般的に処方されやすい内服薬(粉)と食品の組み合わせについて分かりやすくまとめられたホームページを見つけました。

粉薬と服薬補助食品の組み合わせ 国立成育医療研究センター

で検索していただけますと、詳細が掲載されています。

病院受診時に医師に、「錠剤が飲めない」「粉薬が苦手」等、お子様が苦手な薬の形状についてお伝えいただけますと、処方薬を考慮してくれることがあります。また薬局でも、薬剤師さんが飲みやすい薬の形状や組み合わせてもよい食品について相談にのってくれることがありますので、薬でのお困りごとはぜひ医師、薬剤師とも共有されることをお勧めします。

なお内服薬は、できれば水で内服できることが一番良いです。水なら薬効の変化を心配する必要がありません。また災害時は停電し物流も混乱する中で、冷凍・冷蔵物のアイスクリームやヨーグルトは入手困難になることが予想されます。薬が手元にあったとしても内服できなければさらに困難な状況になってしまいかねないので、災害時対策の一つとして、少しずつ水で薬を内服する練習ができるとういことだと思います。

健康相談について

本校では小学部 1 年生・中学部 1 年生・転入生を対象に健康相談を実施していますが、1 月・3 月につきましては、他学年の相談者も受け付けております。発達で気になることや、服薬状況、精神的な不安定等、御相談したいことがある方は、連絡帳にてお知らせください。

☆令和 7 年 1 月 22 日(水)9:15~午前中、3 月 5 日(水)9:15~午前中(1 枠 20 分)

精神科校医の先生は、「たつのシティーワーククリニック」院長の田角 勝先生です。平成 29 年度まで昭和大学病院小児科で、多くのてんかん、脳性麻痺、発達遅滞、奇形症候群や摂食・嚥下障害のお子さんの診療をされていました。小児神経を専門にしている病院や医師は都内では少ないので、ぜひお気軽に御相談ください。

* * * * *

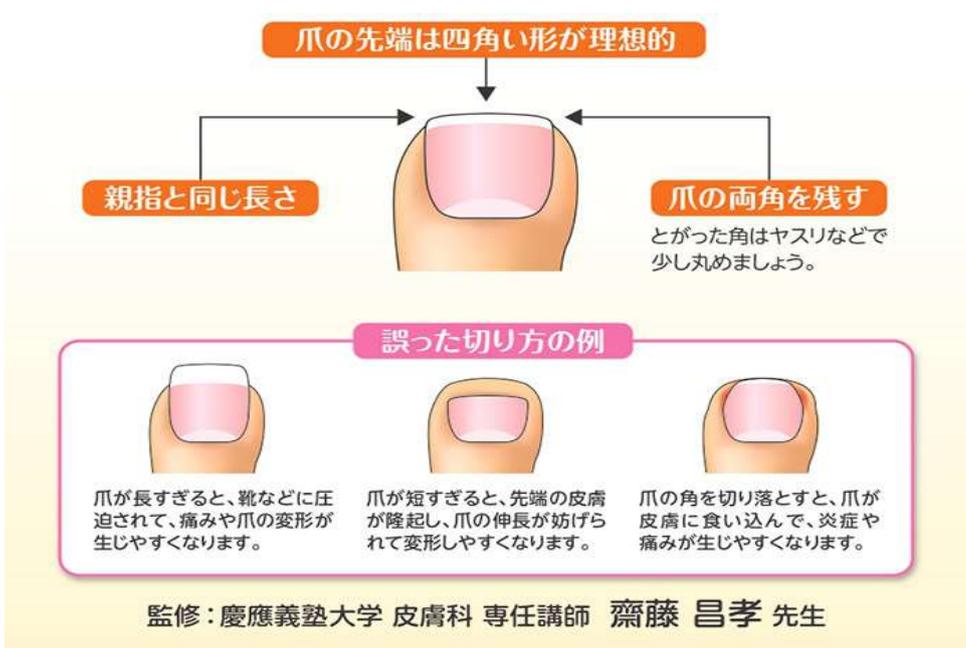
高等部進学から卒業後に向けて、今だからできること

小学部のお子様にはまだ遠く感じられるお話かもしれません。中学部のお子様は、もう目前に迫っていて意識されている方も多いでしょうか。

知的障害特別支援学校高等部の保健室勤務の時に感じていた、「小中のうちから練習しておくとうよかったな・・・」ということを少しご紹介させていただきます。

①爪切りができるようになりましょう！

各高等部では卒業後の進路にむけて様々なカリキュラムが用意されています。1 年生から作業の授業が始まります。事務作業班、清掃班、食品加工班等いろいろありますが、どの作業班に所属しようとも、爪を切って手指を清潔にすることは基本です。



「小さい時からなかなか切れなくて・・・」と、高等部の保護者の方から相談をいただいたこともあります。やはり突然できるようにはなりません。拒否の気持ちが強いお子様の場合、恐怖心が強いのかなと思います。その場合はお子様が寝ている間に手足指 1 本から、爪切りをしていただき、日中お子様が落ち着いているときにごく短時間で指 1 本から爪切りを始め、「できたね！」とたくさん声をかけてあげてください。

②地域にかかりつけ医院をもちましょう！

お子様が成長され思春期に入ると、ホルモンバランスの影響のためか、心身ともに不安定になることがあります。具体的には、まったく医療管理が必要なかったお子様が突然発作で倒れる、精神的に不安定になって自傷や登校拒否に繋がる、内服薬治療を続けていたけれど、御本人の状態と合わなくなる、ということがあります。

病院受診が必要になった場合、医師にはできるだけお子様御本人の様子を診ていただいたほうが状況を共有しやすく、よりスムーズな支援に繋がります。

今は特に問題がなくても、心配なことがあればすぐ受診できるようなかかりつけ医院があると安心です。お子様が小さい時から定期的を受診して、病院の内装や医師の顔に慣れておくとうよいです。